

第40回関西環境管理者交流会【兵庫・京都・滋賀地区共催事業】

第40回関西環境管理者交流会が神戸市で開催され 参加企業 25社 総勢33名の方が参加されました。

今回の交流会は、神戸沖最終処分場及び神戸基地視察見学が主体となりました。

まず神戸商工貿易センタービルに集合した後、フェニックス兵庫建設事務所まで移動して神戸沖最終処分場まで船で移動しました。乗船時間約20分で処分場につきました。埋立処分場の広さは88ha(15,000m³)で甲子園球場の22倍の広さがあるとのことでした。

大阪湾フェニックス計画によってできた処分場は4つあり、その一つが神戸沖最終処分場です。そしてこの計画の大きな目的は二つあり、一つは近畿2府4件の一般家庭から出るゴミや工場、工事現場から出るゴミを適正に埋立処分し、生活環境の保全を図ること。二つ目は埋立てによってできた土地を活用し、港を整備して地域の発展に役立てることです。「フェニックス計画」の名称は、廃棄物の焼却灰などによって埋められた土地が、緑いっぱいの大地として再生することを願って名づけられたとのこと。この計画では、大阪湾に埋立処分場を設けて近畿2府4県168市町村の受入区域から発生した廃棄物を受け入れるため、その最終処分場の一つが平成13年にできた神戸沖埋立処分場です。ここからは、大阪南港、明石海峡大橋や淡路島まで見渡せるほどの素晴らしいパノラマが展開しますが、当日は神戸空港が遠くに霞んで見えるあいにくの曇り空のために残念ながら素晴らしい眺めを見ることができませんでした。

ここの処分場は、埋立能力は平成40年くらいまでは大丈夫らしいですが、処分場がいっぱいになったら、また新しい処分場を造らなければなりません、そのためには建設から開業まで10年かかり経費も900億円かかるらしいです。今の処分場を大切に使うためにも私たち一人ひとりがゴミを減らす努力をしなければならぬと改めて感じました。皆様ももう一度3R活動をしてゴミを減らす工夫をしましょう！！

なお、来年第41回関西環境管理者交流会は当協会が幹事です。今、面白い企画を考えている最中ですが、もし皆様でこんな企画ならもっと面白い交流会ができるのでは・・・とお考えの方がいらっしゃいましたら、当協会事務局へ提案をお願いいたします。

- ◆開催日時 平成26年6月17日(火) 13:00~19:00
- ◆開催場所 神戸商工貿易センタービル、フェニックス神戸沖最終処分場及び神戸基地
- ◆参加者 33名
- ◆共催 神戸地区環境保全連合協議会、(公社)京都工業会 (公社)滋賀県環境保全協会

【プログラム】

I、神戸沖最終処分場及び神戸沖視察

II、情報交換会

- ① 出席者企業紹介及び自己紹介
- ② 3団体の活動紹介(昨年度実績と今年度計画)

III、交流懇親会



① 神戸商工貿易センタービル26階からの眺望



②兵庫基地より神戸沖へいざ出航！！



③ 波を蹴散らし港外へ向かってます！



④あいにくの曇り空で六甲山も霞んで見えます。



⑤ 出航して約15分で埋立の防波堤がみえました。



⑥船か降りて埋立処分場へ向かっています。



⑦ トラックが運んだ埋立地なんと広いこと！



⑧このトラックが毎日何往復もして埋立します。



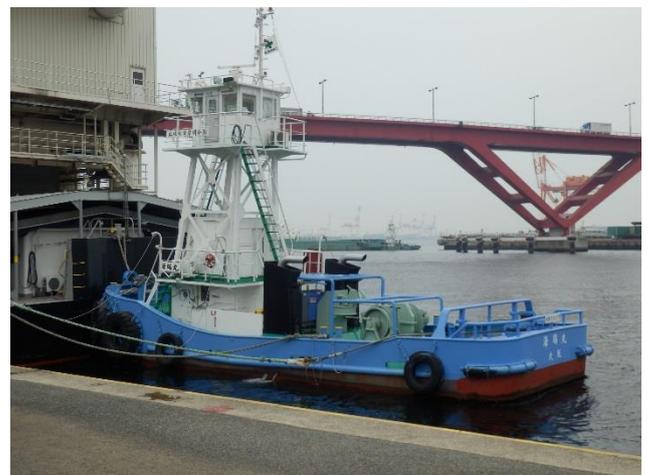
⑨ 埋立地の水処理施設に向かっている所です



⑩水処理施設です。きれいですね！



⑪ 埋立場のオアシス。草木っていいですね！



⑫基地の港で明日の廃棄物を積んでる船です。